

春のキャンパス、ランチサーカスでグルメ巡り



←お昼時、多くの学生で賑わった



↑ケバブサンドを持つ榎本さん（中央）



↑友人と揚げパンを食べる渡邊さん（左端）

4月10～30日の期間、生田キャンパス4号館前に日替わりでキッチンカーが並んだ。春先の学食の混雑に対応して学生生活課が企画したもので、けやきの大樹をぐるりとキッチンカーが囲む様子から「ランチサーカス」と名付けられた。ケバブサンド、ガパオライス、シュラスコロールなどのほか、焼き芋、アサイーボウル、クレープなどのスイーツも販売され、連日、多くの学生で賑わった。

たびたび利用するという榎本陽菜さん（経営3）は「普段はコンビニで済ませることが多いけど、こちらの方が味も量も満足です」。茨城県出身で春から一人暮らしを始めた渡邊洗斗さん（ネット1）は「幅広いメニューから選べて、ケバブなど地元ではあまり食べたことのなかったものも食べられるのが嬉しい」と話す。学生生活課では、今後も開催を計画している。

図書館展示 さまざまな書物の世界

生田キャンパスの図書館本館では、4月21日から5月21日にかけて、所蔵品を中心に東西の美しい書物を紹介する企画展を開催。西洋の書物では、時表書をはじめとする装飾写本や、1500年以前に印刷された初期の活版印刷本「インクナブラ」、19世紀末に制作され「世界で最も美しい書物の一つ」と称されるウィリアム・モリスの『ジョーサー著作集』などを展示。一方、日本の書物では、華やかな彩色挿絵が施された奈良絵本や画帖、豪華な蔦絵箱に納められた写本などが展示された。

会場を訪れた平野美美香さん（文3）は、「表紙の装飾や細部までこだわり抜かれた作りに感動した」と感想を語った。



↑会場の様子



←ウィリアム・モリスによる『ジョーサー著作集』

専修キャリア・インターンシップフェア 学年問わず大盛況



←卒業生が仕事について語るパネルディスカッション
↑学生の質問に答えるエーザイ(株)の岡野さん

「専修キャリア・インターンシップフェア」が、5月17日(土)に神田キャンパスで開催された。「インターンシップ選びのポイント」「エントリー対策」「業界研究」など、全26の多彩なプログラムを自由に受講できる形式で、学年を問わず多くの学生が参加した。

各業界で活躍する卒業生によるパネルディスカッションは、仕事のリアルな話に大教室いっぱいの学生が熱心に耳を傾けた。その後、学生が卒業生に質問できる時間も設けられ、「就活で持っておくべきスキルは？」との問いに、エーザイ株式会社の岡野翔太さん(H27 経済卒)は「特別なスキルはなかったが、学生時代にサッカー部で全力を尽くしたことが、やっていけるという自信につながった」と自らの経験を交え率直に答えた。

また、「仕事体験セミナー」では、業務を模したワークショップを実施。プラスチック容器の製造・販売



↑仕事体験セミナー(営業職)に取り組む学生

を手がけるシーピー化成株式会社による営業職体験プログラムでは、学生がグループに分かれ、顧客のニーズに応じた商品提案に挑戦した。

このほか、キャリアカウンセリングや地方就職相談ブースも設けられ、ご父母・保護者の参加も見られた。法学部1年男子の保護者は「就職活動の現状を知るよい機会になった。息子にとっても刺激になったと思う。息子にはこれを機に高い意識を持って大学生活を送ってほしい」と話す。

車いす体験で必要な支援を学ぶ

「実践!初めての車いす体験講座」が5月17日(土)、神田キャンパスでNPO法人ホープの代表、永田潔氏を講師に開催された。講座では、車いすの基本的な操作方法について学んだ後、参加者同士で利用者役と介助者役を交代しながら学内を移動。エレベーターの乗降、トイレの利用、スロープでの移動などの体験を通じて、必要な支援への理解を深めた。

参加した学生からは「車いすではほんの少しの段差でも怖かった」「どうサポートすればいいかが具体的に分かった」などの声が聞かれた。

